

麻疹（はしか）の予防について

現在、大阪府内で麻疹（はしか）の患者が多数発生しており、今後も感染による患者発生が想定されます。

麻疹は感染力が強く、空気感染し、麻疹に対する免疫が低い方が患者と接触した場合、感染する可能性があります。

予防接種を受けましょう

麻疹は感染力が強く、空気感染もするため、手洗い、マスクのみでは予防できません。

予防にはワクチン接種が有効です。定期接種は対象年齢になったら確実に受けましょう。また、麻疹（はしか）のり患歴や予防接種歴が明らかでなければ、予防接種を検討しましょう。

症状が疑われるときは

- ・事前に医療機関に電話連絡の上、早めに受診してください。
- ・受診の際には、マスクを着用し、公共交通機関等の利用は可能な限り避けてください。

参考：麻疹（はしか）の症状

- ・発熱、発しん、咳、鼻水、眼球結膜の充血などが主な症状です。
- ・感染力が強く、抗体がない人が感染するとほぼ100%発症します。
- ・妊婦や赤ちゃんが感染すると、流産や重症化のリスクがあります。
- ・患者との接触後、一般的に1週間から12日後に発症します。

詳しくは、大阪府ホームページをご覧ください。

大阪府健康医療部保健医療室医療対策課

大阪府 麻疹

検索